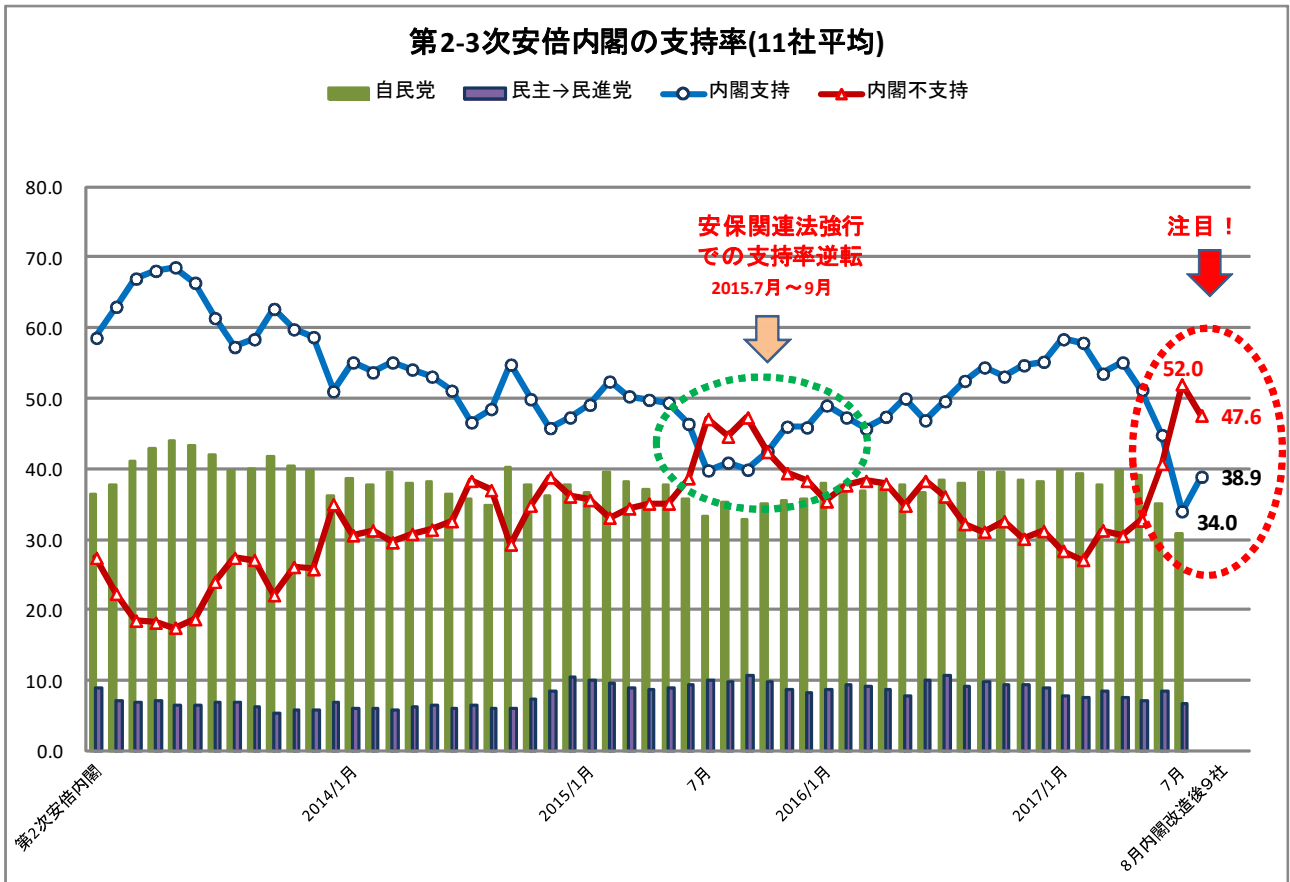


直近の世論調査から－2017. 8. 8(内閣支持率34.0%に下落－空気が変わった!?)

1. 7月内閣支持率ついに34.0%に(▼10.8%減)。8.3内閣改造後も支持率逆転のまま



① 前回レポートでは、都議選での大敗を受けて、内閣支持率の大幅な下落が予想されてはいたが、7月支持率は前月比で10.8%も急落して34.0%に、不支持は11.3%増えて52.0%になった。いずれも上図に見られるように第2次安倍内閣4年7か月で最悪の事態となった。**※内閣改造後も支持率の逆転は変わらない(後述)**

加計学園問題では、政府・首相の説明に「納得できない」が8割弱を記録し、「安倍首相を信用できない」も62.4%(2社)とい

	肯定的	否定的
JNN7.3	13	77
NHK7.10	19	73
共同7.16	15.4	77.8
毎日7.24	11	76
日経7.24	13	77
平均	14.3	76.2

真相解明ついでに安倍政権の姿勢

	評価する	評価しない
朝日7.11	10	74

前川氏指摘の疑いは解消されたか

	思う	思わない
ANN7.17	6	74

臨時国会をすぐ開く必要があると思うか

	必要だ	そう思わない
朝日7.11	55	33

参考人-前川氏と加戸氏どちらが説得力?

	前川氏	加戸氏
FNN7.24	52.2	23.5

8月早々の内閣改造に期待するか

	期待する	期待しない
共同7.16	41.0	57.0
ANN7.17	38	54
平均	39.5	55.5

稲田防衛相－都議選の応援演説

	問題あり	問題なし
2社平均	84.5	12.5

稲田防衛相－進退問題

	辞任すべき	必要ない
4社平均	66.8	23.3

内閣改造で最も交代させるべき閣僚は

FNN7.24	①稲田63.1	②金田2.9
	③麻生1.5	④山本0.8
	⑤必要ない9.9	

安倍内閣－長期政権のおごりとの指摘

	その通り	そう思わない
読売7.10	68	25
日経7.24	65	25
平均	66.5	25.0

加計学園－国会での早期審議

	肯定的	否定的
JNN7.3	64	28

加計学園－首相の説明責任

	果たしている	果たしていない
JNN7.3	12	79

総理の獣医学部を全国開設する方針

	賛成	反対
NNN7.10	19.8	54.7

安倍首相は国会で説明すべき

	そう思う	そう思わない
読売7.10	72	23
ANN7.17	76	14
平均	74.0	18.5

最近の安倍首相を信用できるか

	信用できる	信用できない
朝日7.11	36	61
FNN7.24	29.6	63.8
平均	32.8	62.4

うショッキングな調査結果も出ていた。今回の事態は「長期政権のおごり」(66.5%)と見られ、稲田防衛相に対する特別扱いへの嫌悪感も強く、8月早々の内閣改造に対する期待感

内閣支持率			政党支持率									
7月	支持	不支持	7月	自民	民進	公明	共産	社民	維新	自由	こころ	支持なし
日経7.24	39	52	日経7.24	35	6	3	5	1	2	0	0	41
毎日7.24	26	56	毎日7.24	25	5	3	5	1	2	1	0	52
読売7.10	36	52	読売7.10	31	6	4	4	0	1	0	0	47
朝日7.10	33	47	朝日7.10	30	5	4	4	1	1	0	0	47
共同7.16	35.8	53.1	共同7.16	31.9	8.2	3.0	4.1	1.1	3.5	0.8	0.3	45.1
時事7.14	29.9	48.6	時事7.14	21.1	3.8	3.2	2.1	0.3	1.1	0.0	0.0	65.3
NHK7.10	35	48	NHK7.10	30.7	5.8	4.1	3.3	0.3	1.2	0.5	0.2	47.0
JNN7.3	43.5	55.6	JNN7.3	31.5	6.3	3.4	3.9	1.1	1.3	0.3	0.1	50.4
ANN7.17	29.2	54.5	ANN7.17	38.1	11.4	6.2	5.8	1.3	2.6	0.5	0.0	31.7
FNN7.24	34.7	56.1	FNN7.24	29.1	7.0	5.3	4.6	1.3	3.2	0.8	0.2	45.7
NNN7.10	31.9	49.2	NNN7.10	35.6	9.2	3.7	5.6	1.5	1.1	0.4	0.0	38.1
平均	34.0	52.0	平均	30.8	6.7	3.9	4.3	0.9	1.8	0.4	0.1	46.4
朝日7.4	38	42	朝日7.4	30	7	3	4					

安倍首相の三選の可否			「安倍一強」のこれから		
	交代を	継続を	毎日7.24	①自民内から人材を 31	
毎日7.24	62	23		②野党から対抗する人が出て 25	
次の内閣改造・党役員人事に関心は				③新政党・団体から対抗する人を 23	
	関心ある	関心ない	毎日7.24	④安倍首相が強いままで良い 7	
毎日7.24	60	30		次の総理にふさわしい人は	
内閣改造で麻生・菅氏の留任人事			FNN7.24	①石破20.4 ②安倍19.7	
	評価する	評価しない		③小泉進9.0 ④小池百8.9 ⑤岸田5.3	
毎日7.24	30	52		⑥橋下徹3.9 ⑦麻生2.2 ⑧蓮舫1.7	

歴代内閣の退陣直前の支持率		
※1989年以降(調査年・月) ワースト順		
朝日新聞	読売新聞	毎日新聞
①竹下 7%(89.4)	①竹下 8.0%(89.4)	①竹下 9%
②森 9%(01.2)	②森 8.6%(01.2)	①森 9%
③菅 14%(11.8)	③宮沢 10.4%(93.6)	③菅 15%
④鳩山 17%(10.05)	④菅 18%(11.8)	④宮沢 18%
⑤麻生 19%(09.8)	⑤鳩山 19%(10.05)	⑤麻生 20%
⑥野田 21%(12.12)	⑥野田 20%(12.12)	⑤鳩山 20%
⑦福田 25%(08.8)	⑦宇野 22.8%(89.6)	⑦野田 23%(12.11)
⑧橋本 26%(98.6)	⑧麻生 24.7%(09.8)	⑧村山 24%
⑨宮沢 26%(93.4)	⑨福田 28.3%(08.8)	⑨福田 25%
⑩宇野 28%(89.6)	⑩安倍 29.0%(07.9)	⑩橋本 27%
⑪安倍 33%(07.8)	⑪橋本 29.9%(98.6)	⑪小淵 28%
⑫村山 33%(95.12)	⑫村山 35.4%(95.12)	⑫安倍 29%
⑬小淵 36%(00.3)	⑬小淵 40.7%(00.3)	⑬海部 36%
⑭小泉 47%(06.8)	⑭羽田 48.2%(94.6)	⑭小泉 45%
⑮羽田 47%(94.5)	⑮海部 52.3%(91.9)	⑮細川 74%
⑯海部 50%(91.9)	⑯小泉 53.0%(06.9)	※宇野、羽田は
⑰細川 57%(94.2)	⑰細川 55.1%(94.3)	調査なし
#2安倍内閣 2017年7月の支持率一朝日33%、読売36%、毎日26%		

が、今度ばかりは自民党の支持率も30.8%と前月比で4.2%下がった。しかし野党第一党の民進党は、この受け皿になるどころか共に1.7%減の6.7%という結果だった。支持なし46.4%の無党派層だけが増えている(前月比5.1%増)。

他の党の支持率は、前月比では、公明党▼0.1%減の3.9%、共産党は+0.2%の4.3%、社民党0.9%、維新の党1.8%、自由党0.4%は前月と変わらず、こころは0.1%増だった。

③ 8.3 内閣改造を受けて実施された最新の内閣支持率(9社)は、右表のように一定の浮揚効果が見られたが、なお不支持

も吹き飛んでしまった。安倍総理の三選にも赤信号が点り(安倍首相交代を求める声が62%)、ポスト安倍を求める空気が一気に広がった(毎日「安倍一強のこれから」。FNN石破をが20.4%、安倍19.7%)。安倍内閣の支持率は、これまでも「何となく安倍内閣でも良いんじゃないか」という空気に支えられていたといわれていたが、これが「もう安倍でなくても良いんじゃないの!」「もう安倍には飽きた」と空気が変わったのだ。「この空気は理屈じゃないから、もう元には戻せない。首相交代を求める新ステージに入った」といわれる。

ちなみに過去の歴代内閣の退陣直前の支持率(朝日・読売・毎日)をまとめてみたが(左表)、第一次安倍内閣退陣時の支持率と遜色ないところにまで落ち込んでいるのが分かる。

②さらに、これまでは安倍内閣の浮沈はあっても「自民党支持率は下がらない」といわ

内閣改造による支持率の浮揚効果

8月	支持	前月比	不支持	前月比
日経8.4	42	+3	49	-3
毎日8.4	35	+9	47	-9
読売8.4	42	+6	48	-4
共同8.4	44.4	+8.6	43.2	-9.9
NNN8.7	35.6	+3.7	47.3	-1.9
朝日8.7	35	+2	45	-2
NHK8.7	39	+4	43	-5
JNN8.7	39.7	-3.6	59.0	+3.3
ANN8.7	37.6	+8.4	47.2	-7.3
平均	38.9	+5.3	47.6	-4.0

が支持を大きく上回っている。プラス効果には、入閣した野田聖子・河野太郎氏らへの期待(6割前後)が大きかったようで、後任の首相候補としては石破→安倍→岸田という順になっているようだ。詳しくは次回のレポートでまとめてみたい。

2. “受け皿”をめぐって…民進党代表選挙、都民ファと石原・橋下新党との比較

④都議選で自民党と共に敗北した民進党は、蓮舫代表が7.27日代表辞任を発表し、9.1代表選を迎えることになっている。世論調査でも、蓮舫代表に対する期待感は25.5%にとどまり、「期待しない」が68.7%(2社)。「二重国籍問題」での説明にも世論が納得した形とは言えない。結局はこの1年間、浮上できないまま退陣に追い込まれた形だ。朝日が早々

自民党に対抗する政党は必要か

	必要だ	必要ない
朝日7.11	82	10

次期衆院選での民進と共産の選挙協力

	賛成	反対
読売7.10	28	47

民進蓮舫代表に期待するか

	期待する	期待しない
読売7.10	23	70
FNN7.24	27.9	67.4
平均	25.5	68.7

蓮舫代表の二重国籍問題での説明に

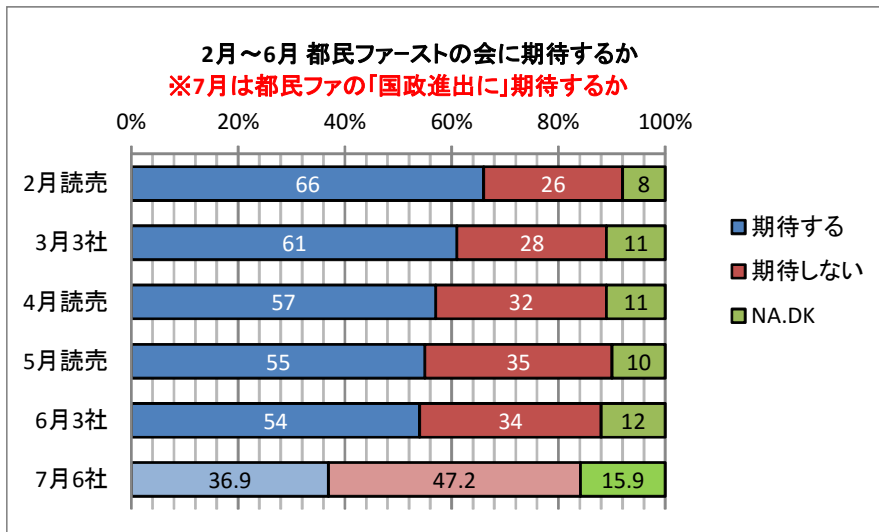
	納得できる	納得できない
FNN7.24	45.8	45.2

仮にいま衆院選で比例投票するとしたら

朝日7.11	①自民へ37 ②民進へ12 ③公明へ8 ④共産へ10 ⑤維新へ6 ⑦自由へ1 ⑧社民へ2 ⑨こころへ1 ⑩その他10 ⑪NA. DK22
--------	---

と「次期衆院選での比例投票は？」と設問したが、昨年参院選時と比較すると「共

産へ10%」がやや高いが(+4%程度)、自民、民進、その他の政党はほとんど変化がない。⑤都議選で受け皿となった都民ファーストが国政に与える影響(国政進出)が注目されている。「自民党に対抗する政党は必要か」(朝日)の問いに、「必要だ82%・必要ない10%」とあるように、野党の新しい受け皿を求める空気は強い。



都民ファが次期衆院選での国政進出

	期待or肯定	否定的
NNN7.10	26.6	55.2
読売7.10	37	49
朝日7.11	42	36
ANN7.17	39	47
日経7.24	41	48
毎日7.24	36	48
平均	36.9	47.2

都民ファが国政進出したら投票するか

	投票する	しない
FNN7.24	31.9	52.5

築地市場移転を巡る小池都知事新方針

	評価する	評価しない
JNN7.3	49	29
NNN7.10	①知事方針に賛成 36.9 ②豊洲断念、築地で建て直し 19.6 ③豊洲・築地以外への移転 2.9	

2012年橋下・石原新党の国政進出に

橋下(大阪)維新の会の国政進出に

	肯定的評価	否定的評価
2月8社平均	62.3	28.1
3月5社平均	60.6	33.0
4月9社平均	58.3	31.7

石原新党構想に(2012年)

	肯定的評価	否定的評価
2月4社平均	36.9	53.4
3月4社平均	35.5	58.5
4月5社平均	40.2	48.9

上図は都民ファーストの会に対する期待感を時系列で見たものだ。2月～6月の都民ファーストに対する一般的な期待感では54%～66%と高いが、7月は都民ファの「国政進出」に対する期待感を聞いたものだ。国政進出への期待は36.9%、期待しないが47.2%となった(6社平均)。「国政進出したら投票するか」と直接的に聞いたFNN調査では「投票する31.9%・投票しない52.5%」という答えが返ってきている。都民ファーストの国政進出には過大評価は禁物だと思うのだが…。

⑥ちなみに右表は、かつて民主党政権下で新党(2012年12月、日本維新の会結成)への期待が高まった頃のデータだ。大阪維新の会が国政進出を決めたのは9月のことだが、この気配に対しては2月～4月の調査では、6割程度の支持・期待感が寄せられていた。またこれに呼応しようとしていた東京都の石原新党構想(たちあがれ→太陽の党→維新に合流)への支持は35%～40%程度。だいたい今の都民ファーストと同程度と見なされる。

こうした情勢に反応して、民進党の細野元代表代行は、8.4に「私が受け皿になる」とばかりに離党声明を出したが、「同調する議員なし」と報道された。過去の経緯から見ても、当面は都民フアが国政新党の軸になれる条件はなく、これを吸引すべきかつての大阪維新のような相方もいない。また噂される現職国会議員たちにその役目を求めるような世論は、今のところ定かではない。民進党が9.1代表選を通して、こうした情勢に対して、何らかの存在感を見せることが出来るのか、これも今のところは定かでない。

1992年以來の25年間で生まれた新党は60数個にもなるのだが、残っているのは維新と自由党とところ、それに（最長記録21年続いている）民進党の4個だけなのだ。“新党運動”という時代は既に過ぎ去ってしまったはずなのだが…、情勢の展開を見たい。

今の憲法の改正に

	賛成	反対
NNN7.10	31.2	45.8
FNN7.24	46.5	43.8
平均	38.9	44.8

安倍首相の下での憲法改正に

	賛成	反対
共同7.16	32.6	54.8

安倍首相の2020年新憲法改正に

	肯定的	否定的
ANN7.17	29	50
毎日7.24	22	66
平均	25.5	58.0

安倍首相の9条改正提案(考え方)に

	賛成	反対
ANN7.17	34	45
毎日7.24	25	41
平均	29.5	43.0

9条は維持して自衛隊明記の憲法改正

	賛成	反対
FNN7.24	55.3	31.3

自民党は憲法改正案づくりを急ぐべきと

	急ぐべき	急ぐ必要ない
朝日7.11	22	66

国会で憲法改正議論を進めることに

	賛成	反対
ANN7.17	70	17
FNN7.24	64.6	28.5
平均	67.3	22.8

共謀罪の採択・手法に

	納得できる	納得できない
JNN7.3	23	63

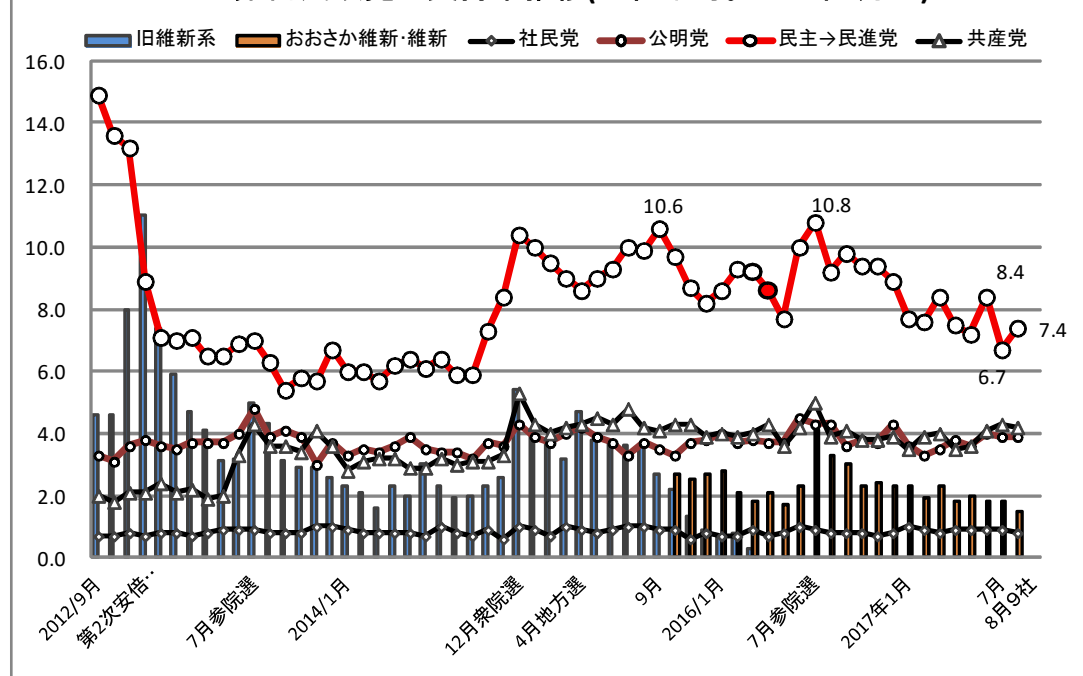
共謀罪の運用に対して不安を感じるか

	感じる	感じない
毎日7.24	51	22

3. 安倍首相は「憲法改正スケジュール」を見直し？

⑤安倍首相は、8.3内閣改造に際して、「これまでの憲法改正スケジュールにこだわらない」と、世論の反発を意識した軌道修正を図った。安倍内閣の求心力の下落と共に、憲法改正に対する否定的雰囲気も広がっているようだ。「今の時期での憲法改正」「安倍首相の下での憲法改正」「2020年の新憲法施行」など、いずれも反対・否定的な答えが大きくなっている。

非自民政党の支持率推移(11社平均。2012年9月～)



ただし一般論としての「自衛隊明記の憲法改正」「国会での憲法論議」については肯定的である。

←※8.3の内閣改造後の9社平均では、自民が34.9%(+4.1%)、民進は7.4%(+0.7%)となっている。

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)